

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 10月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203310		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム三滝ひまわり		
所在地	広島市西区三滝本町2丁目25-10 (電話) 082-230-0888		
自己評価作成日	平成26年3月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203310-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年9月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当施設では地域に開かれた施設を目指して、町内会で行われる行事やサークル活動へ積極的に参加している。地域の環境、住環境を活かし、近くの公園までの散歩を楽しんだり、平屋の作りを活かし、入居者の方も両棟を自由に行き来できるようになっている。全室に鍵と洋式トイレが設置してあり、プライバシーの確保に配慮している。介護職員は毎月同法人グループでの勉強会とグループホーム独自の認知症介護に関連した内容の勉強会を行い、知識の向上に努めている。日々の関わりでは認知症になっても出来る事、わかる事に着目し、ご家族と共に出来る事を喜べる関係を目指している。また季節を感じながら、楽しめる行事を企画し支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、閑静な住宅地の一角にあり、平屋で天井が高く広くゆったりとした造りになっている。特徴として①地域の祭りや町内会主催のいきいきサロンや同法人の老健施設で催されている夏祭りに利用者と職員が参加する等、地域住民との良好な関係が構築されている。②建物内中心の事務所を挟んで左右に2つのユニットがあり、利用者が両方のユニットを自由に行き来して会話を弾ませている。③職員は利用者の生活習慣性や個々の役割を大切にし、その人らしい、その人にしかないケアプランを作成し、利用者のできる・やれるを支援している。④職員の自立をめざし、受身ではなく積極的に責任をもって発言・発信する力を身につけることを目指した人材育成に取り組んでいる。⑤管理者は、全職員の意見や思いをしっかりと取り入れ、話し合いながら運営に反映させており、職員の働く意欲の向上や質の確保に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念をわかりやすくしたケア目標を掲げ、毎朝唱和している。	法人の基本理念を基に、当事業所のケア目標を職員で話し合っって作成し、掲示や朝礼で唱和する等職員全員で共有して実践につなげている。また、ケア目標の進捗状況や達成度を評価し、その結果を次に繋ぐようにしている。今年度は自立する職員、自信を持って発言する職員づくりにも力を入れている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や地域の行事に参加したり、月に2回の集会所での合唱会や季節ごとの町内清掃に参加している。運営推進会議には民生委員さんや町内会の方に参加頂き、情報交換を行っている。	開所当時から地域との関係作りに取り組まれたことにより、町内会長の積極的な支援と理解を得ており、事業所は地域の一員として、町内清掃に職員が参加している。また、集会所で行われている「楽しく歌う会」に利用者と職員がともに参加する等交流を深めている。同法人の老健主催の夏祭りに参加し、地域の人々との交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し、地域との協力体制を作っている。要望があれば、認知症サポーター養成講座にも協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催。家族、入居者、町内会長等参加をお願いし、情報交換、事故報告を行い、今後について話し合いを行っている。年に1度は消防署立会いの避難訓練を同日に行い、危機管理についてご家族様や町内会の方の意見を聞き参考にしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回、定期的に任氏代表や家族が参加し、状況報告や意見交換を行っている。そこでの意見をサービス向上に活かしている。また、地域住民の代表からは、地域行事の情報を提供してもらっている。複数家族の参加を希望し、家族会と同日開催で行ったが家族会のみ参加となり、今後は、曜日や時間の変更、新規利用者家族への声かけ等、参加の呼びかけを検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	広島市の介護保険事業所指導係と区役所の介護保険担当者に報告している。またアンケートなど協力できることは行っている。	市の担当者とは、日頃から運営推進会議の結果やケアサービスの取り組みを報告したり、認知症サポーター実践講座の協力依頼を受けたり協力関係が築かれている。地域包括支援センターの職員とは運営推進会議に出席して頂き、指導や助言を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は行っておらず、関連法人グループにて年に2回身体拘束に関する研修を行ない、抑制することのないように問題解決に努めている。</p>	<p>年に2回、身体拘束に関する研修を行っている。参加できない職員は資料やDVDを活用して学習し、全職員が共通認識を持ち日々のケアに取り組んでいる。玄関は施錠せず、日中は開放している。事務所を挟んで左右2つのユニットがあり、職員は両方のユニットの利用者の様子を把握・連携して見守り、支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回虐待に関する研修を行なっている。入浴時には全身の観察を行ない、注意を払っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回権利擁護に関する研修を行ない職員の理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>生活のしおりや見学をすすめ、実際に日常生活の様子を見てもらっている。リスクマネジメントについては対応方針を文章でわかりやすく説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様の面会時にはコミュニケーションを積極的に行い、話がしやすい関係づくりに努めている。苦情、要望があった場合は、記録に残し、サービス向上委員会にて話し合いを行っている。</p>	<p>家族の来訪時には職員が積極的に声かけをし、利用者の近況を伝えたり、話しやすい雰囲気づくりに配慮している。家族会は年2回行われており、7月の「そうめん流し」には12組のご家族が参加して、交流が図られた。そこでの意見や要望を記録に残し、職員で共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度全体カンファレンスを行なっている。欠席者は書類参加にて意見を出してもらい全員が参加できる工夫をしている。人事考課制度にて個別に話し合いの場も設けている。	月に1回の全体会議やユニット会議を開催し、職員の意見を聞いている。また、欠席の職員からは事前に意見を聞いて会議の中で協議している。年2回は個別面談をし職員の意見や要望を聞いて、それらを運営に反映させている。現在、法人全体で全職員を対象に「働きやすい職場づくり」アンケートの実施に向けて取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎週、現場を確認し、管理者より報告を行なっている。必要時にも電話やメールにて報告を行ない指示、アドバイスをしている。又人事考課も取り入れている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月、法人での研修会とグループホーム独自の勉強会をおこなっている。講師は職員が順番に行い、教える側も共に学んでいる。 外部 研修の参加が少ないので、もっと参加できるようにしたい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のグループホーム（5事業所）と2ヶ月に1度話し合いの場を設け、事業所の状態や取り組みの意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様のいままでの生活状況などご本人、ご家族にお聞きしている。入居者様の訴えを傾聴し、ご本人が求めていることや不安を理解しようと努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様に安心して頂けるように要望等お聞きし、ご家族様のご苦勞や今までのサービスの利用状況などゆっくり聞く様にしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族様の想い、状況等を確認し、可能な限り柔軟な対応を行えるように話し合い、説明を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人の想いを暮らしの中で理解し、共に支え合える関係を作り、生活の場を大切に考えセッティングし、声かけにも配慮している。必要に応じて環境整備を行い、過ごしやすい環境づくりに努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所の行事には参加をお願いしている。本人の誕生日には家族の方に相談し、一緒にお祝いをしたり、可能であれば外食をお願いしている。要望があれば職員も同行している。面会が難しい方は手紙や電話での触れ合いが持てるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様の協力のもと、馴染みの知人や友人に面会をお願いし、交流がもてるようにしている。居室にはなじみの物を持って来ていただくようお願いしている。</p>	<p>馴染みの知人や友人等との関係が継続できるように、家族の協力を得ながら面会に来てもらったり、電話で利用者と話してもらったり、手紙の代筆をするなど、支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	初めは職員が介入しながら、入居者様同士の相性や関係を理解して支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後は、本人家族の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前よりご本人様の希望や思いをお聞きし、把握するように努め、グループホームでも継続できることは続けて行っている。	一人ひとりの生活歴や日々の関わりから、本人のできる事はしてもらう支援に心掛けている。利用者の希望や意向については、言葉や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。困難な場合には家族からの情報を基に意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	見学、面接時に情報収集を行ない、担当のケアマネにも情報提供をお願いしている。入居後も本人、家族の方からお聞きしたことは職員同士で情報交換し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間の様子を記録に残し、いつもと違う行動や発言は、現状のままを記載し、さらに重要なことは申し送りをおこなっている。夜間は一時間ごとに巡室を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>3ヶ月ごとに見直しを行い、ご本人、ご家族の想いを聞き、アセスメントを含めて職員全体でカンファレンスを行なっている。</p>	<p>利用者の希望や家族の意見は日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。担当者がモニタリングを行いユニットの全職員で検討し、計画を見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を記録に残し連絡ノートを活用しながら、職員間で情報を共有している。カンファレンスは随時おこなっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その時の状況に応じて上司に相談した上で臨機応変に対応している。例えば、ご家族とご本人の外食を実現する為に送迎をおこなった。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>楽しんで参加できるイベントがないか地域包括支援センターや町内会から情報を頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に1度、受診をしている。体調の変化があれば、その都度、主治医に指示をもらっている。必要があれば、主治医より直接ご家族に説明も行なっている。</p>	<p>月に2回協力医に受診し、健康状態を把握している。本人、家族の希望により、これまでのかかりつけ医を受診している人もいるが情報の共有はきめ細かく図られている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて柔軟に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>クリニックより看護師の往診が週に1度あり。緊急時には、同法人グループの老健に相談できる体制を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に本人への支援に関する情報を医療機関に提供し、家族とは回復状態等の情報交換をおこないながら退院支援に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人、家族の方の意向を踏まえ主治医と連携をとりながら、対応できるケアについて説明を行なっている。</p>	<p>事業所として、希望があれば看取りを行う方針である。その場合には、本人と家族と話し合いを行い、医師、医療機関と相談し、対応を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応についてのマニュアルはあるが、応急処置の訓練は行なえていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成し、消防職員、家族の方立ち合いの避難訓練を年に1度と同法人グループと合同の避難訓練を毎月行っている。また同法人グループの応援体制も整っており、マニュアル化している。</p>	<p>消防署立会いのもとで運営推進会議メンバーと合同で避難訓練を実施し、防災設備の点検や研修も受けている。また、毎月、近隣の同法人施設と合同で避難訓練を行い、近隣の職員に協力を要請できるような体制も出来ている。今後は、地域の方々の協力体制を今以上に築かれることが期待される。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内の個人情報保護委員会の指導を基に慎重に扱うようにしている。同法人グループにて2ヶ月に1度抜き打ちチェックもおこなっている。	年に2回接遇研修が行われ、全職員は個人の尊厳やプライバシーを損ねない言葉かけや対応について共有し、取り組んでいる。法人内の「個人情報保護委員会」が2ヶ月毎に各事業所の抜き打ちチェックを行い、日常的な確認・改善が図られている。利用者の居室には鍵がかけられるようになっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人ひとりの状態にあわせ、些細なことでも本人が決定する場面を作るように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、ご本人の思い、その人にあった過ごし方を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々の生活習慣に合わせて、化粧やおしゃれを楽しんでもらいその人らしさを表現できるように努めており、共に喜びを感じている。外出時や行事の時は時は衣類の汚れのチェックを行い、必要に応じて更衣している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	イベントや季節にあったメニューを取り入れている。調理には自立できる部分を生かし、声かけをおこなっている。誕生日には本人の食べたいものやお好きなものを本人または家族にお聞きし、提供している。	利用者の誕生日には、本人希望のメニューと手作りのケーキでお祝いをしたり外食することもある。月に2回程度、職員と一緒に考えた献立（ちらし寿司、餃子等）を皆で調理し、楽しい食事となるよう工夫されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>10時15時20時入浴後外出後には必ず水分を取って頂き、数種類の中から選んで頂いている。食事はバランスを考え、献立表を確認しながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを声かけ、介助を行っている。必要であれば、歯科往診にて口腔ケアの指導をお願いしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>紙オムツの使用は最終手段とし、紙パンツ、尿取りパットの使用は必要最小限にし、個々の排泄パターンの把握に努め、トイレでの排泄を大切にしている。</p>	<p>排泄パターンを把握し、声掛けや見守りによりトイレ誘導を行い、なるべく紙オムツに頼らないように、支援している。夜間については、靴に鈴をつけて、鈴の音がしたら職員がかけつけトイレ誘導をしている。きめ細かいケアにより転倒予防にも繋がっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排泄記録から便秘気味の方には牛乳、ヨーグルト、野菜ジュースなどを提供したり、食事には食物繊維を取り入れた食事作りを心掛けている。また、身体を動かすことの大切さを常に意識するように心掛けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日勤帯（10時から16時）ではあるが、個々の希望の温度を把握している。入居者様の都合に合わせて、温度調整を行いながら、ゆっくり入浴して頂けるよう支援している。</p>	<p>定期的な入浴のほか、利用者の希望に応じ毎日でも対応している。順番も本人の意思を尊重し、入りたい時に入ってもらい、ゆっくりと気持ちよく入浴してもらえるような支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	生活習慣に違いがあることを認識し、日中でも居室での臥床時間を設け、日常生活を支障なく送れる様支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	服薬ファイルの作成や処方された薬の説明書を個人別に整理し職員全員が把握できるようにしている。内服薬の変更時は申し送りや連絡バインダーにて確認できるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	体調を気に止めながらご本人のやりたい事、出来る事を支援している。ご本人様、ご家族様から情報収集を行い、外出、行事を行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	ご家族にも協力いただき、散歩や外出をお願いしている。不定期ではあるが、突発的にドライブなども行っており、外出の機会を増やすように意識している。	事業所の一体が高級住宅街で近くに公園があり、日常的に散歩し、近隣の人たちと挨拶を交わしている。利用者一人ひとりの希望を聴き、買い物や外食、野球観戦等個別対応にも努めている。また、花見やドライブに家族の協力を得ながら出かけられるように支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご家族と話し合いの上決定している。買い物に行ったときはなるべくご本人にレジの対応をしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族様に事前に了解を得て本人の希望時には連絡をしている。ご家族様から郵便物が届いた場合はご本人とともに連絡している。また季節の挨拶状を本人とともに書いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>安全な生活が送れるように歩行スペースに注意をはらっている。季節にあった飾りやカレンダーを毎月作成している。</p>	<p>天井が高く、共用スペースにはやわらかな日差しが入り、開放的で清潔感あふれる雰囲気である。2つのユニットの利用者が互いに行き交い、会話を楽しんだり、居心地よく過ごせるような工夫をしている。廊下には利用者手作りの季節の作品が飾られてる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居室には鍵がついておりプライバシーを確保している。リビングでは少人数で談話が楽しめるように椅子などの配置に配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>安心して生活して頂く為になるべく自宅にあるタンスや本人が大切にしているものを家族の方に協力頂き持ち込んでもらっている。</p>	<p>本人・家族と相談しながら、家具や写真など馴染みの物や使い慣れた物を自由に持ち込み、家具等は自宅で置いてあった所となるべく同じ様な場所に配置するようにしている。本人が日々の生活で不自由を感じることなく、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各居室には表札をつけ、その人に合わせて標識を活用したり、自立できるように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を念頭においてサービスを実地する為にケア目標を作成し、朝礼の時に唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や地域の行事に参加したり、月に2回の集会所での合唱会や季節ごとの町内清掃に職員、入居者の方と共に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し、地域との協力体制を作っている。要望があれば、認知症サポーター養成講座にも協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催しご家族様、町内会長、地域包括に活動報告をおこない、意見交換を行っている。職員には、議事録で確認してもらい今後のサービス提供につなげている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業所として出来る事は積極的に協力している。また介護保険課の担当者に必要なことは報告している。困難事例があれば相談も行う姿勢でいる。事故報告書など必要な書類は迅速に送付している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をテーマに年に2回研修会をおこなっている。また入居の際、ご家族様にも説明している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止をテーマに年に2回研修会をおこない、虐待に対する意識を高めている。事業所内で虐待が起こらないように職員のストレス管理も行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ご家族様に相談を持ちかけられれば対応している。職員の知識の向上の勉強会を関連施設と合同で年に2回行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時にご本人様又は、ご家族様にわかりやすく説明を行い、納得された上でおこなっている。不安、疑問点はいつでも聞いて頂くよう声を掛けている。不安が残らない様にその後のフォローにも気を配っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様からの意見は記録に残し、カンファレンスで話し合いを行い、サービス向上委員会でも再度検討している。運営推進会議でも報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度全体カンファレンスを行なっている。欠席者は書類参加にて意見を出してもらい全員が参加できる工夫をしている。年2回の人事考課制度にて個別に話し合いの場も設けている。管理者不在時には、管理者への連絡ノートを活用している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎週、現場を確認し、管理者より報告を行なっている。必要時にも電話やメールにて報告を行ない指示、アドバイスをしている。又人事考課も取り入れている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	関連法人グループの研修を月に1度、グループホーム内の研修を月に1度行っており、研修後は現場で行かせるような内容になる様に工夫をしている。必要に応じて外部研修にも参加しており、現場にフィードバックできるように研修報告書は職員も回覧するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のグループホーム（5事業所）と2ヶ月に1度話し合いの場を設け、事業所の状態や取り組みの意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様おひとりおひとりに職員担当をつけ、その職員を中心に、面接時の情報を確認しながらご本人様の想いを知り、記録することで情報の共有をおこなっている。ご家族からも情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面接時、見学時の情報を記録に残し、共有している。これまでの生活歴など本人様、ご家族様に確認し、情報の共有を行っている。入居日の夜間と次の日の朝に必ず電話にてご本人様の状況を伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介護保険制度のサービスについて必要に応じて情報提供し、担当のケアマネに相談しながら話しを勧めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の想いを尊重し意見を聞いてから行動するようにしている。ご本人様の好きな事、得意な事を一緒に行い、共に喜ぶことのできる関係作りを目指している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員は面会時に近況を報告し、日々のご様子を知って頂けるようにしている。また、ご家族だけで過ごす時間、職員も含めて過ごす時間の必要性を考え誕生日会など計画、相談しご家族様と共に本人も支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族に協力頂き、なじみの物を持ち込んだり馴染みの場所などの情報をもらったりしている。可能であれば、なじみの場所にご家族様と共に出かけしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	職員が介入し、入居者同士の関係が構築できるように見守り、関わりながら気を配っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退居後は、本人家族の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。退居後も希望があれば、再契約を行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いやりや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	カンファレンスを通じてニーズや問題点を探しケアプランに反映している。ご家族の参加の声かけが必要。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	ご家族やケアマネージャーより情報を頂いている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	日々の様子を生活行動記録に記入している。カンファレンスで職員間で情報を共有し入居者の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者を中心に3カ月ごとにプランの見直しを行っている。本人、家族の意向を反映し作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>本人の発言、行動を中心に記録し、必要に応じて連絡ノートに記入し、職員間で共有している。カンファレンスで生活行動記録を参考に話し合い介護計画を見直している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>病院受診では急遽の場合などご家族様が同行出来ない場合は職員で対応している。ご家族の希望も確認しながら、外出、外泊の支援も行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の清掃活動、町内の季節ごとの行事や合唱会の参加など地域の方との交流を持てる場を提供している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に1度定期受診し、面会時、または電話にてご家族に報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週に1度、医療連携の看護師の往診があり相談している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院の相談員と情報交換を行い、退院に向けての相談を行っている。電話だけでなく直接訪問するようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	主治医に相談しながら、家族の方と重度化した場合の対応について話をしている。必要であれば主治医より説明を行っている。ご本人様、ご家族様の意向をできるだけ尊重できるように代弁も行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	早期発見を心がけ、マニュアルも作成しているが、実践訓練が行えてない。勉強会は年に1度行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	マニュアルを作成し、消防職員、家族の方立ち合いの避難訓練を年に1度と同法人グループと合同の避難訓練を毎月行っている。また同法人グループの応援体制も整っており、マニュアル化している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者を人生の先輩として接し、相手の立場に立って声かけを行なっている。職員間でも注意しあえる関係を目指している。又入居者の方の情報は外では漏らさない様に徹底している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向を尊重し、選択できる場面をできるだけ作るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までやってこられた事や好きな事を意識し、役割を持った生活が送れるように支援し散る。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節感のある服を本人とともに選んだり、外出時には女性はお化粧、男性は髭剃りなどの声かけやお手伝いをしている。鏡を見ながら、ご本人様に出来るところまではして頂き、援助している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理や食器洗いなど一緒に行っている。メニューは重ならないように前もって主食のみ考えている。副菜は入居者様と共に考え、提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>決まった時間だけでなく、いつでも飲んで頂ける様に準備している。種類も4種類から選んで頂けるようにしている。主食も肉と魚が続かないように工夫し、野菜を多めに使用するように心がけている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアの声かけ、介助を行い、清潔面だけでなく、誤嚥を防ぐ為にも口腔ケアについての勉強会を年に1度、歯科医師を講師に行っている。何かあればすぐに相談できる訪問歯科がある。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>可能な限り布パンツを使用し、汚染確認を行っている。紙パンツを使用している方は布パンツで対応できる時間帯など話し合っている。新人職員はオムツ体験を行い、オムツの不快感を経験してもらっている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便確認と毎朝の食事に乳製品や野菜ジュースなどを取り入れている。便秘の原因がそれぞれ違うことを理解し、水分を多くとってもらう、運動量を増やすなど個別に対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎朝バイタル測定を行ない問題がなければ、日勤帯ではあるが、時間帯などなるべく本人の希望にて入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>適度な離床時間を設けている。夜間安眠できるように、日中の活動内容も考えている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬ファイルの作成や処方された薬の説明書を個人別に整理し職員全員が把握できるようにしている。内服薬の変更時は申し送りや連絡バインダーにて確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居者様おひとりおひとり、出来る事に違いがあり、想いも違う事を念頭に置き、分担して頂きながら職員と共に家事を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご家族に相談し外出、外泊をお願いしている。地域行事や法人での行事にも積極的に参加している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人の希望でなにか購入する場合はご家族に了解を得て行っている。レジでのお金のやり取りも大切だと考え行ってもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族様に事前に了解を得て本人の希望時には連絡をしている。ご家族様から郵便物が届いた場合はご本人とともに連絡している。また季節の挨拶上を本人とともに書いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビング内はできるだけ明るく光を取り込み夏にはブラインドで暑さの調整をしている。また、季節を感じていただけるように見えるところにお花を飾っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>集団で何かを行う時と個別で行う時をその都度机の配置を変え行っている。普段も団欒の場を大切にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>棚、椅子、TV、家族写真など使い慣れたものや近くにあることで安心感につながるものを持参して頂くよう家族の方にも協力頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>転倒を防ぐ為に家具の配置に気を配っている。再々の模様替えは混乱する事も理解して避けている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム三滝ひまわり

作成日 平成26年11月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は2か月に1度開催しているが、家族の参加が少なく、参加者も殆ど変化がない。	沢山の方が参加しやすい時間帯、曜日の設定を行い、内容にも工夫する。	家族会と同日に開催したり、参加しやすい曜日、時間を面会時に確認し、その都度変更する。	6か月
2				専門職の意見など興味を持って頂ける内容を入れる。(勉強会など)	
3	18	駐車場への散歩、施設内の散歩は毎日行われているが、外出の重要性を理解し実行してほしい。	目的を持った外出が出来る。	外出前に何の為に出かけるのか、出かける事でどのような効果が期待できるかをその都度考えて計画書に記入してもらう。	6か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。